

竹取新聞

株式会社 カグヤ

東京都新宿区西新宿3-2-11

新宿三井ビルディング

2号館10階



第89版

理念と実践で
絆を結びます

平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一主義」の理念をカグヤクルーの日々の出来事からの内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

「何のため」を握り合う

ミマモリングソフトの導入研修のため、千葉県八千代市にある第二勝田保育園様へお伺いしました。

今回の導入研修で特に印象的だったのは、研修開始時の丸山園長のお言葉でした。

「以前から色々なソフトを検討してきましたが、うちの保育に合うのはこのミマモリングソフトだと思って導入を決めました。業務省力を売りにしたソフト」なら他に多々ありましたが、もしそのようなものを導入することで『ソフトに合わせて保育を変える』ことになれば、それはおかしい話になります。ソフトはあくまでも補助的なツール、上手く活用してうちの保育に活かしていきたいと思っています。」

もともと園様では「子どもの中に計画はある」というお考えで、子ども一人ひとりの発達から保育を展開することを



発達について熱心に話し合う先生方の姿はまさに「子どもの主体性を育てる保育」という園の保育方針を物語っているようでした。

大事にされており、『発達を見る』という観点で弊社のソフトを導入して下さいました。「何を目的に導入するのか?」の認識はとても重要で、それによって園の子どもたち・先生方に大きな影響を与えることを思うと、はじめに導入目的をお聴きしたことによって、園の先生方だけでなく私たちカグヤもまた安心して研修を進めさせていただきました。

「何のため」を握り合ってスタートされた園様のようにより、私たちも初心を忘れることなく先生方と一緒に歩んでいきたいと思っています。

ブレない眼差し

大阪府にあります、たちはな東こども園の柳橋智樹先生とお話をしていた際にミマモリングソフトの活用事例を教えてくださいました。

それは、行事についてです。

お楽しみ会も、劇や歌、合奏などありますが、「その行事を通して子どもたちのどんな発達を見ることができるのか」という部分は中々保護者に伝わりづらかったり、はたまた職員さん同士の共通理解に於いても難しかったそうです。

そこで、新宿せいが保育園さんを真似て、「自分達で発達過程が分かる様な表を作ってみよう!!」と現場の先生方から声が上がリ、作る事になりました。乳児から幼児まで、劇や歌、合奏を通じてどんな発達がみられるのかを、ミマモリングソフトの発達表を見ながら、表現の領域の「音楽のカテゴリ」模倣表現・工作のカテ

発達に寄り添う行事が、子どもたちの笑顔につながっていきます。

「ゴリ」など該当する箇所から、その発達過程を抜き出し、現場の子どもたちの発達状況とすり合わせながら制作したそうです。

行事一つをとっても、「子どもたちの何の発達に繋がっているのか」という視点を大切にしようとする現場の先生方のその眼差しは、行事ではなく「子どもたち」に向いていることを感じます。

私たちクルーも、先生方のように日々の仕事が一体何に繋がっているのかという眼差しを忘れずにいたいと思います。

未来の保育士

埼玉県にある秋草短期大学を会場に2日間に渡り、GT関東研修会が開催されました。毎年、関東ブロックで開催地を移動する研修会で、今年

のだと感じます。就職活動で悩む時期でもありますが、同時に期待と希望を持って学ぶ姿に感動するものがありました。

一人ひとり保育に想いをもった未来の保育士。そして近い未来に共に現場で働く仲間からも力を頂く研修会になりました。

養成校を会場としてお借り出来たのも、日ごろからの関係性や熱心に保育を学び合う連携があつてこそ。同じ理念のもと実践した事例を園同士だけでなく、学生の方にも見て聞いて頂くことで、何か芽生えたのではないかと想像してしまいます。

保育士の先生方や学生も混ざる中で研修会は立場や役割を越え、子どもたちの未来を願って共に学び合う関係な



実践発表、藤森先生の講演、養成校の先生からの就職の現状など盛りだくさんのプログラムで2日間の研修を行いました。



ドイツ報告では海外の事情を聴き学生さんも驚嘆の声を挙げプレゼンを聞いていました。

CCN

Caguya Company News

カグヤニュース

※カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるよう、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

一カ月を味わう

月の初めに、クルーみんなで同じ方向を見て働けるよう、「月間テーマ」を作っています。

毎週この月間テーマから振り返ることで、以前より課題や目標について共通認識も持ちやすくなったように思います。個人の振り返りだけでなく、会社やチームとしてどうだったかという

左:【Before】
月初めにテーマだけを
書いていましたが...

下:【After】
毎週の経過が一目瞭然!



視点が変わり、全体の動きを見直しやすくなりました。

ただ、これまでは振り返った内容を議事に残すだけだったので、前週話した内容や、大事にしたい要点を意識しづらい環境になっていました。一カ月の動きを遡るのも「苦労」でした...

そこで、先月から、模造紙にテーマと併せて、一カ月の出来事の変遷も書いてみることにしました(左上の図)。自分たちが行動したことだけでなく、ハプニングや奇跡のような体験も記録することで、目に見えにくかった出来事も、テーマに関係していたことが分かり、さらに壮大な一か月だったことを味わえるようになりました。

まだまだ改善の途中です。理念をもとにカタチを変えながら、実践を磨き、自分たちのありたい働き方へと近づいていけたらと思っています。

花梨(かりん)

先日、ある園様で採れた沢山の花梨を頂きました！先生は「園では食べきれないので、カグヤさんならいかしてくれと思うって」と仰って下さり、これはカグヤの得意分野ということで、花梨工場のごとく調理に取り掛かります。普段扱うことのない食材に苦戦しつつも、社内が花梨の良い香りでいっぱいになり、なんだか幸せな気持ちに。

そうして出来上がったのが花梨ジャムとシロップ漬けです。風邪が流行る今の時期には、喉の炎症を抑える働きがある花梨はピッタリ！早速他の園様にも旬のおすそ分けをさせて頂きました。



2年に1度しか収穫できない貴重な花梨。自然で美しい色です。



ラッピングし、全国の園様へ嫁入り!

そして花梨を頂いた園様にも、形を変えて『里帰り』させて頂けることができました。

カグヤでは頂いた食材を調理する機会が多いですが、またこうしてご縁から新たなおいしさを発見することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。鮮やかな黄色と甘い香りに癒される時間となりました。

社内ガーデン

社内では随分と前から「社内ガーデン」として、沢山の植物と一緒に過ごしています。こんな東京砂漠の中でも自然の変化を少しでも感じられるように、と、季節の移ろいに合わせてお花も追加しています。水やりなど、植物のお世話が大変な時もありますが、そんな時はこちらに余裕がないことを教えてくれるかのようで...緑やお花による

一期一会庵

「子どもたちにとつての自然体」

先日「カグヤ祭り部」の御縁から秩父夜祭の御神幸行列に参列し玉串奉奠を行う機会をいただきました。今年はユネスコの無形文化遺産に登録されたこともあり御祭りは大変な賑わいでした。文化遺産になった理由のひとつには、秩父の人々は年間を通じて秩父夜祭の準備や練習に取り組んでおり、祭りが「地域において世代を超えた多くの人々の対話と交流を促進し、コミュニティを結びつける重要な役割を果たしている」ということがあったそうです。実際に今回の神事に参加して何よりも勉強になったのが氏子の皆様をはじめ神社を奉る関係者の皆様が自分たちや人間の都合を優先せずに、常に神様や伝統の方に自分たちを合わせていくという敬虔で謙虚な実践を行っているところでした。秩父神社の権宮司様からもそのことで貴重なお話をいただきました。かつて秩父夜祭の人数は開催曜日によって大きな差があり、週末に当たると20万人を超す人出になっていたといわれています。そこで経済効果を念頭に置いて週末開催を求める声が出ていたそうです。お祭りに参加する市民も仕事を休んで祭りに参加することも難しくなってきたので

「癒し効果」は勿論ですが、理念や大事なものを失わないように働きかけてくれる存在でもあります。これからもそんな植物たちから、人間都合ではない生き方を学んでいきたいと思っています。



先月からシクラメンなど冬のお花が仲間入り!



ポインセチアや飾り付けに合わせ、クリスマス風の装いに

編集後記

今月もご愛読頂きまして、誠にありがとうございます。本年も大変お世話になりました。来年もよろしくお願ひ申し上げます。

カグヤは「子ども第一主義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます。

caguya
株式会社 カグヤ

本社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビルディング2号館10階
tel.03-5909-7155
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17
東京堂神保町第3ビルディング8階
tel.03-3518-6217
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389
URL: <http://www.caguya.co.jp>
E-mail: support@caguya.co.jp
受付時間 月～金 9:00～18:00
(土・日曜祝祭日を除く)